



飯能ロータリークラブ会報



桜の中央公園と天覧山

© photo by Hiroyuki Maejima

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

RI会長 シェカール・メータ

2570地区ガバナ 水村雅啓
第3グループ ガバナー補佐 和泉由起夫

もっと夢を もっと奉仕を More dreams More service

第3013例会 2022. 5. 18

—— 青少年奉仕月間 ——

天候 晴 (NO. 58-46)

会長 高橋 弘 幹事 大野 康

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 塩川君、佐々木君

例会場: ホテル・ヘリテイジ飯能sta.

☎(042)975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局: 飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎(042)973-1661 FAX(042)973-1662

http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 高橋会長
- ・ソング 英語版ロータリーソング 四つのテスト
- ・卓話 内沼博史埼玉県議会議員様(飯能RC会員)
- ・イニシエーションスピーチ 大津力会員

【会長報告】

5/15(日)スポーツ少年団少年野球部会にカップ、ボールを寄贈。16(月)「飯能新緑ツーデーマーチ」で日高RCと共に「ロータリー奉仕デー」の一環としてミネラルウォーター7千本を飯能市に提供、その贈呈式が行われ、市長から御礼の言葉を頂きました。日高RCと相談し、土日各5名、延べ10名が受付係として参加。28(土)川口、天ヶ瀬、秦会員、29(日)大野(康)、私が担当。HPの「飯能RC図書室」は個人情報保護法に適合する頁のみを公開、他頁の閲覧はID・パスワードで会員限定とする方向で調整中。スマホ用HPも6月中旬に公開、「会員紹介」のリンクも設置。6/13ヘリテイジ、エメラルドホールにて今年度最後の第3G会長幹事会です。

【幹事報告】

第11回理事会議事録を配付。役員、委員長は6月のクラブ協議会で報告をお願い致します。
◎例会変更のお知らせ
◇所沢中央RC
・6/6(月) クラブ協議会・現新理事会
・6/13・20(月) 休会(細則5条)
・6/27(月) 振替休会(6/25最終例会)

【委員会報告】

◎ロータリー情報委員会 島田君
炉辺会談の出欠は本日中。入会20年以上の方が1名、オブザーバーとして参加予定です。
◎ロータリー財団委員会 沢辺君
私と高橋会長に加え細田伴次郎会員よりご寄付頂く事になりました。お蔭様で今年度5人。ご協力誠に有難うございます。
◎環境保全委員会 町田君
第20回飯能新緑ツーデーマーチには14名が参

加予定。鈴木(康)委員長に代わり私が引率致します。ゴール後、稲荷町「蓬萊」にて慰労会を行います。

◎次年度幹事 市川君
本日、次年度計画書の提出期限です。6/1第1回理事会。発表内容は事前にお知らせ下さい。

◎会長エレクト 矢島(高)君
5/7地区研修・協議会がYouTube配信で開催。11名が視聴。zoom入室の際の不手際について地区よりお詫び状。5/11・12・13次年度座談会には多くのご参加を頂き有難うございました。

【出席報告】無届欠席2・MUなし 中川出席向上委員

会員数		当日		前々回修正出席率
全数	対象	出席数	出席率	
70名	4名	63名	90.00%	祝日週の為例会取消修正はありません

【ロータリーの友】

柏木雑誌委員
5月号、「RCはいつでも平和的な紛争解決を選び可能な限り人々に援助と癒しを提供」「国連創設を促し世界での平和構築のために立ち上がりました。今こそ私達の使命を再確認し世界最大の平和推進者としてのRCの役割を果たす時」とRI会長。陸続きの国にとっては1つのエリアであり、RCの繋がりはあったはず。戦火の中、どういう活動をしているのか。RCが手を結んで少しでも力を出せたらと願います。「平和のためのプロジェクト」対話の呼びかけ、地雷撤去等の活動報告。「ロータリー平和フェロー」経験を共有する事で支援の輪が広がれば、との事です。縦組「低年齢化する子どものメディア漬け」一読をお薦めします。

【SAA報告】

◎ニコニコBOX
・内沼県議様、本日は卓話よろしくお願ひ致します。間邊君、高橋会長、矢島(高)エレクト馬場副会長、大野(康)幹事、吉澤SAA、伊澤君

- ・大津様、本日はよろしくお願ひします。間邊君
 - ・結婚記念日お祝ひ有難うございました。森田君
 - ・妻の誕生日お祝ひ有難うございました。沢辺君
 - ・飯能グリーンCCの理事長杯に優勝させて頂きました。今後もよろしくお願ひします。小谷野(大)君
 - ・3月から5月に、入籍、引越し、会社移転、新事業スタートとあり、例会を3回欠席致しました。鳥居君
 - ・早退させて頂きます。佐々木君
- 本日計 29,000 円、累計額 792,000 円。
 ◎ 1 日例会当番は田辺、土屋会員です。

【卓話】

講師紹介

吉澤 S A A

埼玉から見た飯能

埼玉県議会議員 内沼博史様 (飯能RC会員)



大久保さんが先週紹介された高木美保さんの言葉「都会田舎」は、県の中でまさしく飯能に当てはまると思っております。飯能市の移住促進策「(農のある暮らし)飯能住まい」は、他の県議の質問に対する答弁で、大野知事、執行部が紹介する程、飯能市は注目されています。県「移住就業支援金等補助事業」(過疎化指定の対象市町村に

就業、移住した方に国・県・市から補助金を支給)、これがほとんど使われておらずやり方が違うのではと一昨年、一般質問。条件を下げてテレワークも可として頂きました。R3年度の実績で27件中12件が飯能市。県からの当初予算額1千万円のうち960万円をすでに飯能市では使っています。県の情報をいち早く取り、それが市の施策として成る。これも市と県の取り組みの一つと思っております。

川の流域面積が全国2位「川の国埼玉」では今、川利用のルール化を推進中。遊歩道やウッドデッキ等ハード面の整備を行ってきましたが、「Next川の再生」事業では民間事業者、観光協会、埼玉りそな子会社「ラボたま」を中心にルール作りを行っています。GW中、飯能河原では火気使用有料化の実証実験を実施。「お客が減ったのでは」等言われましたがこれは県の取り組みにもしていこうかという画期的な実験でした。昨年のGW、飯能河原が無法地帯のようになり警察への通報も多くありました。気持ちよくBBQや河原遊びを頂くためのルール作りです。結果はこれから出ると思います。名栗「大松閣」では一棟貸切もスタート。観光客をもっと埼玉県に呼び込みたい。また、教育面でも小中一貫校、「わせがく夢育高等学校」、タブレット端末等で飯能市は注目されています。皆様からさまざまなご意見を頂きながら飯能市の取り組みを強く県に発信していければと思っております。

イニシエーション・スピーチ

飯能RC 大津 力 会員

S46年、大津家に男4兄弟の3男として生まれ、負けず嫌いな私は親に迷惑をかけました。さゆり幼稚園、飯能一小に通い、西中ではテニス部、所沢高校では野球部。駿河台大学経済学部経営情報学科に1期生で入学して野球とアルバイトに精を出し、それが大きな財産となりました。実践として経済を現場で、同世代や年配の方、いろいろな方から学べる。この4年間、あらゆる経験をしようと建築現場の肉体労働から夜の居酒屋、スキー場、海の旅館等、25業種を経験。その中で芽生えたのが「スキー場



のペンション経営」という夢でした。卒業後まず「ビッグホリデー(株)」に就職。念願のスキー担当に配属され、年末は会社に泊まり込み。若い女性社員も多く、毎日飲み会をやっているようなドラマチックな3年間でした。その間に夢は「農業観光ホテルの経営」に変化。当時、食にも関心があり、自分の所で畑を作り、安全な食材を提供したいとの思いがありました。そして転職を決意した時に、私の人生の転機が訪れました。もう50年前位になりますが、父が市内で営んでいた学習塾の経営が悪化。私は転職のタイミングで、それならば父の学習塾と一緒に手伝い、3年でまた夢に戻ろうと考えました。しかしながらその後の25から35歳までの間、私はさまざまな苦しい思いをする事になりました。そこで芽生えたのが、自分と同じように苦しんでいる人が世の中にはたくさん居るのではないかと、私がそういう経験をしたという事はそういった人を助ける事が出来るのではないかと、それが私の使命なのではないかとの思いで、その時初めて「政治」というキーワードが私の心の中に現われました。

当然の事ながら当時の私には地盤も看板もありません。「力を付けなければ」と思い、さらに、当時好きだった女性から「さりげない魅力をもった人になってください」と言われてフラれた時に「どうにかして自分を磨かなければいけない」という強烈な思いから、いろいろな方に助言を頂き、飯能消防団に入団、飯能JICにも入会。敬愛してやまない先輩方、仲間、後輩と出会う事が出来、大きな財産を得たと思っております。その中で飯能愛が増大。魅力ある飯能をつくりたい、衰退を止めたいとの思いから、H25年、ご支援を頂いて41歳で飯能市議会議員となりました。現在3期目です。議員として真っ先にやりたかったのが移住政策で、耕作放棄地を活かした政策を考えました。農地所有者は農地法の関係でなかなか土地を手放せない。一方で、都心には「農のある暮らし」に関心をもつ若い方が一定数居る。両者を行政がマッチングする事で解決出来ないかと議会で提案し、その後、政策を実現して頂きました。「飯能住まい」制度も6年目となり、50組超が南高麗地区に移住されています。

そして今、飯能市の将来的な大きな政策として「森林環境教育」を考えています。子ども達に環境の大切さを体感してもらうというもので時代は追い風です。R6年から「森林環境税」が開始され、日本全体で年間600～700億円の財源が確保されます。飯能市は分配される税金で山の手入れや間伐、林道整備等を行うのですが、注目しているはその税金が山をもたない自治体にも入るという点です。東京や横浜等、大きな人口を抱える自治体では年間1億円超の財源が配分される。公共施設の木質化等に使うための税制ですが、これが環境教育にも使えるのです。木質化には限界がありますが教育は無量大。宿泊学習等で飯能市に来て頂き、環境意識の高い人材を輩出出来るのではないかと、これに全力で取り組みたいと思っております。

現在は学習塾の経営と議員と二足の草鞋。二刀流の大谷翔平選手も将来バッターかピッチャーのどちらかに絞る決断を迫られるかもしれません。私はその時には出来る、出来ないではなく、本当に自分がやりたいか、やりたくないかで選択したい。50歳を越え人生の半分を過ぎました。最期に「全力で生き抜けた」と言えるよう、ますます頑張りたい。RCの皆様と共に人生に彩りを与えられるような活動をして参りたいと思っております。